

3. 日本および世界地図を描くための デジタル・マップ・プログラム

小竹美子
吉田満
佐藤泰夫
国立防災センター 浜田和郎

(昭和 49 年 12 月 9 日受理)

§1. まえがき

かつて「地震記象」と言えば紙、又はこれに準ずるもの上に描かれた図形であった。しかし最近では DIGITAL SEISMOGRAM といった考えが生れ、実用に供されている。その利害得失を考えると、前者は一目で見てその波形についての特徴を把握することができるのに反して、計算のためのデータとすることがむづかしく、後者はその反対である。しかし計算機とプロッタとを連結して使用することが出来るようになるに伴つて、後者のもつ短所は次第にうすれ、利点が強く表われて来ている。

地図の諸要素、海岸線、国境その他の境界線、河川、道路等を表わす曲線、あるいは山岳の位置等を数値化し、これを適当な形でカード、テープ等に保存しておけば、計算機と XY プロッターを使用して自由にこれを紙の上に描くことができる。その際数値は経緯度であつてもよいし、ある投影法に従つて、ある縮尺で描かれた地図の上での読み取り値であつてもかまわない。これを DIGITAL MAP と呼ぶことにする。いざれにせよ、このような準備ができていれば、計算機内部での処理によつて、極めて容易に縮尺を指定することができるし、又希望する範囲だけをえらぶことが出来る。投影法の変更は上記二つに比べればやや手数を必要とするが、そのためのプログラムを作れば、これによつて変換を行なうのに困難はない。

しかし、地震記録と地図の間には類似点もあるが本質的な相違点もある。それは前者が解析の対象たるデータそのものであるのに反して、後者はデータをもりこむべきわく組みにすぎず、直接解析の対象となることは少ない。ある地域の面積を計算したり、山体や火山噴出物の体積を求めたりすることは地図が比較的直接にデータとして用いられる例であろうが、これはあまり一般的な使用法ではない。地図が地学の研究に使われるのはデータが地図の上に記され、これによつてその分布、性質等が理解出来るという点にあろう。又地図は地震記録にくらべてより複雑である。前者が 1 次元的な時系列であるのに反して後者が 2 次元的ひろがりをもつことがその主たる要因であろう。

§2. 資 料

今回、数値化される地図として、上述の目的に供するため基本として採つた地図は、ランペルト等積天頂投影法による縮尺 500 万分の 1 の日本附近の地図（以後 MAP-H と呼ぶ）、国土地理院発行（1968）の「100 万分の 1 地図、日本 I, II, III」（以後 MAP-JPN

と呼ぶ) の 2 種類、および世界地図又はその一部分をかくための MAP-ISC である。

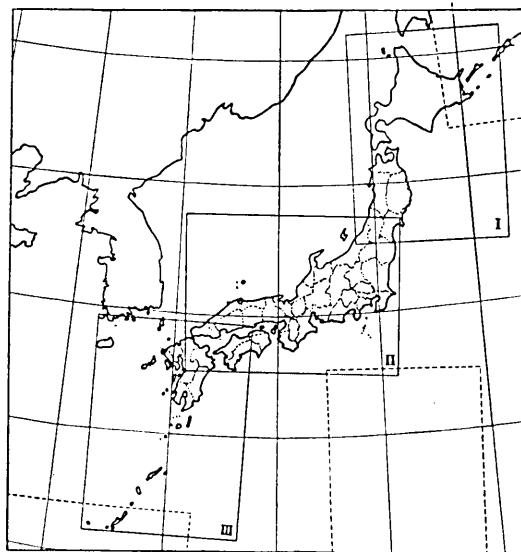


Fig. 1. Regions covered by maps, I, II, III published by the Geographical Survey Institute, Ministry of Construction.

§3. ディジタル・マップの例

数値化は前節にも書いたように、海岸線、県境等に注目し、これを表わすに十分な点をとつて行つた。MAP-JPN については、先ず地図上で読み取つた上、この数値を変換して経緯度になおし、磁気テープに入れてある。各点の座標は緯度・経度の順に対になつてゐる。そのごく一部分を印刷したものが Table 1 である。この表には 100 点含まれているが、全体でほぼ 1 万点ある。

Table 1. Listing of a part of the Digital MAP-JPN. Pairs of latitude and longitude representing the shore line and the prefecture lines of Japan are given. (Unit: degree)

41.389	140.186	41.415	140.161	41.419	140.149	41.417	140.137	41.424	140.128
41.414	140.089	41.424	140.064	41.439	140.040	41.448	140.027	41.466	140.027
41.477	140.016	41.493	140.013	41.520	140.000	41.534	139.990	41.553	139.986
41.574	139.985	41.592	139.985	41.610	139.984	41.622	139.995	41.647	140.000
41.674	140.005	41.693	140.016	41.719	140.039	41.739	140.055	41.767	140.068
41.785	140.072	41.803	140.071	41.803	140.093	41.798	140.107	41.822	140.127
41.841	140.126	41.860	140.123	41.881	140.137	41.909	140.139	41.922	140.138
41.941	140.135	41.964	140.124	41.966	140.136	41.977	140.124	42.004	140.122
42.003	140.103	42.028	140.097	42.032	140.099	42.032	140.085	42.045	140.084
42.050	140.072	42.075	140.059	42.103	140.033	42.117	140.000	42.125	139.990
42.123	139.980	42.129	139.971	42.126	139.947	42.141	139.926	42.159	139.909
42.179	139.894	42.191	139.883	42.200	139.883	42.215	139.870	42.214	139.852
42.221	139.827	42.220	139.818	42.229	139.797	42.238	139.796	42.255	139.779
42.267	139.782	42.271	139.791	42.292	139.781	42.307	139.768	42.330	139.774
42.355	139.784	42.355	139.794	42.367	139.804	42.367	139.814	42.388	139.825
42.395	139.837	42.418	139.848	42.441	139.849	42.459	139.852	42.477	139.845
42.504	139.844	42.522	139.843	42.536	139.835	42.558	139.841	42.585	139.827
42.612	139.826	42.625	139.837	42.642	139.861	42.654	139.860	42.668	139.884
42.678	139.908	42.686	139.932	42.684	139.942	42.690	139.954	42.687	139.987
42.689	139.993	42.683	140.006	42.686	140.018	42.690	140.026	42.684	140.036

MAP-H については上記 500 万分の 1 日本地図上で、北方向を +y、東方向を +x

Fig. 1 はこの MAP-JPN の 3 葉の地図がカバーする範囲を示す。MAP-JPN および MAP-ISC はそれぞれ TAPE-JPN および TAPE-ISC に記録されている。TAPE-ISC は ISC (International Seismological Center, England) で地図作製に使用しているテープで、世界の海岸線を表わす点をとり、各点の緯度・経度の値をラジアン単位で与えている。テープ上の記録形式は

- a. 大陸及び島々の分類番号
(§ 5, NCÖN の説明参照)
- b. 海岸線を示す緯度・経度の個数
- c. 海岸線を示す緯度・経度

の順で、収納されているデータの数は約 60,000 点である。

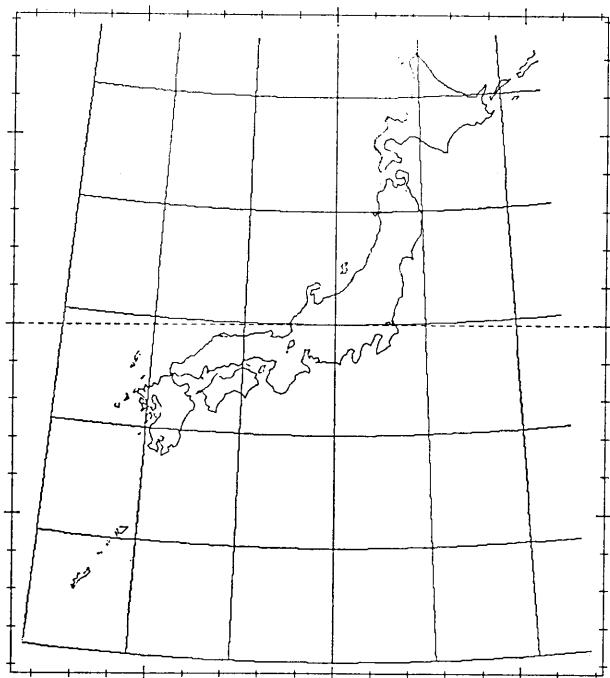
軸にもつ直角座標をとり、各点の座標を 0.1 mm 単位で読み取った。点の数は 3000 ほどで、カードにパンチされている。



Fig. 2. Map of Japan prepared by the Digital Map PROGRAM-H.

Fig. 2 は MAP-H を描いたもので、海岸線の外に 2 度毎の経緯度がプラス・マークで示されている。縮尺を 333 万分の 1 以下の任意の値にとりうること、経緯度の格子点を加え又は除き得るほか自由度はなく、簡単なプログラムである。

Fig. 3 は MAP-JPN を円錐図法でプロッタにより描いたもので、4 度毎の経緯度線も



←Fig. 3. Map of Japan plotted by using PROGRAM-A and TAPE-JPN.

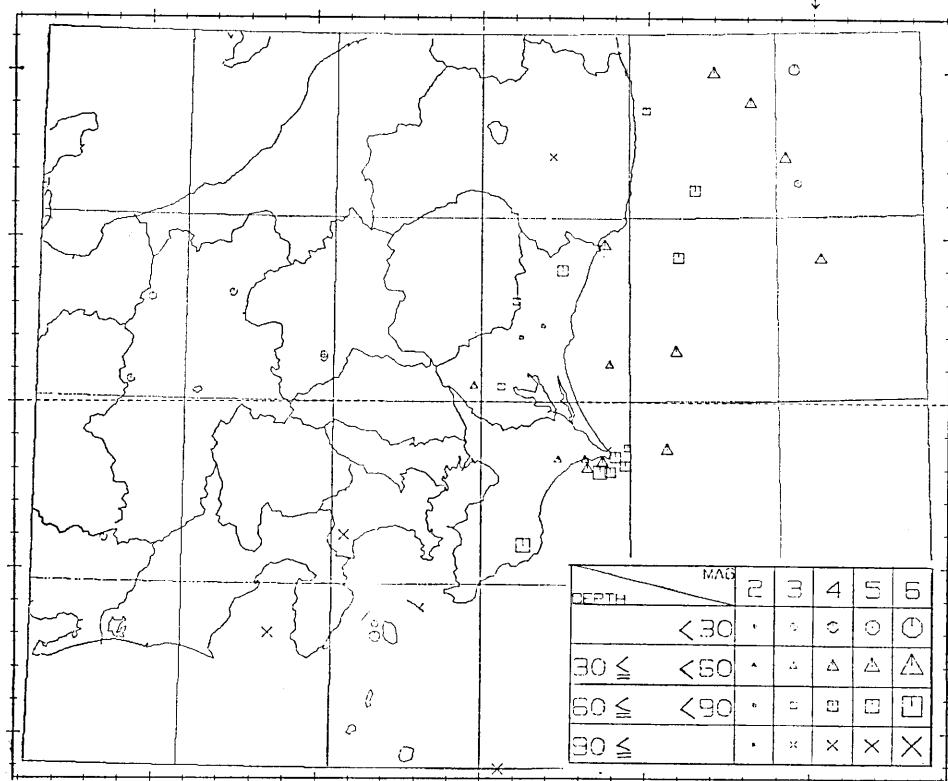


Fig. 4. An example of the plotting of extra data. Epicenter distribution classified by the magnitude and the focal depth.

ひいてある。点線は参考のためにかいた x 軸で (y 軸は実線とかさなつて見えない), 除くこともできる。

Fig. 4 は Fig. 3 の一部分; 関東地方とその付近の地域(北緯 34° - 38° , 東経 138° - 144°)を県界を入れて描き, これに地震の震央を深さ (30, 60, 90 km) およびマグニチュード (2, 3, 4, 5, 6) で分類して記入したものである。期間を示すことにより地震活動を示す地図となりうる。又他のデータを MAP-JPN と共にプロットすることも可能である。(§5 参照)

§4. 投影法

目的に応じて投影法を変換することもできる(文献参照)。現在メルカトル(Mercator), ミラー(Miller), 円錐(2種類)およびガウス・クリューガー(Gauss-Krüger)の各投影法のための変換公式がプログラムの中に内蔵されている。

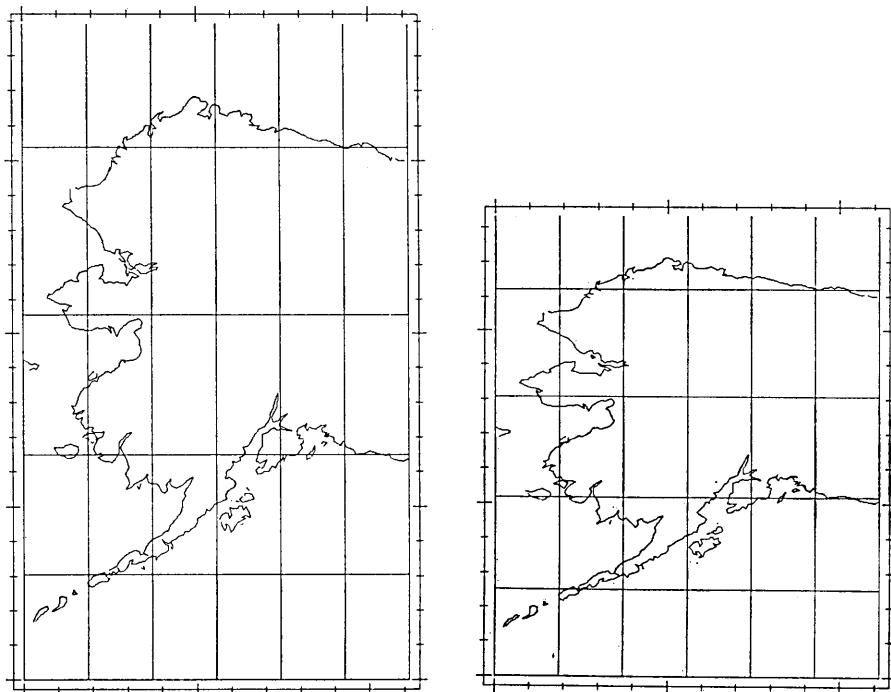


Fig. 5. Maps of Alaska using Mercator and Miller projections, ($n=m=5/4$).

アラスカ地域をメルカトル及びミラー図法によって描いた地図を Fig. 5 に示す。投影法の変換公式(緯度 λ, φ から直角座標 x, y へ)は, r を地球半径として

1) メルカトル投影法

$$x = r\lambda$$

$$y = \frac{r}{2} \log \left(\frac{1 + \sin \varphi}{1 - \sin \varphi} \right)$$

2) ミラー投影法

$$x = r\lambda$$

$$y = n \cdot r \cdot \log \left(\tan \left(\frac{\pi}{4} + \frac{\varphi}{2m} \right) \right)$$

(n, m は定数, $m > 1$. $n = m = 5/4$ がしばしば用いられる.)

3) 円錐図法

地球の赤道、極半径を a, b , 一標準緯度の時これを φ_0 とする。円錐の頂角 $\theta = \varphi_0$

$$H = \sqrt{a^2 + b^2 \tan^2 \varphi_0} / \tan \varphi_0$$

頂点から標準緯線までの距離を l_0 とすると

$$l_0 = a^2 / \sin \varphi_0 \sqrt{a^2 + b^2 \tan^2 \varphi_0}$$

基準となる点 (λ_0, φ_0) の座標を (x_0, y_0) とすると、任意地点 (λ, φ) の座標 (x, y) は

$$x = x_0 + l \sin \omega$$

$$y = y_0 + l_0 - l \cos \omega$$

ただし

$$\omega = (\lambda - \lambda_0) \sin \theta$$

$$l = l_0 \cos \varphi' / \cos(\varphi' - \theta)$$

$$\tan \varphi' = \frac{b^2}{a^2} \tan \varphi$$

である。又任意の座標 (x, y) の経緯度 (λ, φ) は

$$\lambda = \lambda_0 + \omega' / \sin \theta$$

$$\varphi = \tan^{-1} \left(\frac{a^2}{b^2} \tan \left(\frac{l_0}{l \sin \theta} - \frac{1}{\tan \theta} \right) \right)$$

ただし

$$\omega = \tan^{-1} ((x - x_0) / (l_0 - y + y_0))$$

$$l = \sqrt{(x - x_0)^2 + (l_0 - y + y_0)^2}$$

二標準緯線の場合、それぞれ φ_1, φ_2 とすると

$$\theta = \frac{a^2}{b^2} \frac{\sqrt{a^2 + b^2 \tan^2 \varphi_2} - \sqrt{a^2 + b^2 \tan^2 \varphi_1}}{\tan \varphi_2 \sqrt{a^2 + b^2 \tan^2 \varphi_1} - \tan \varphi_1 \sqrt{a^2 + b^2 \tan^2 \varphi_2}}$$

$$H = \frac{a^2 \tan \theta + b^2 \tan \varphi_1}{\sqrt{a^2 + b^2 \tan^2 \varphi_1}}$$

頂点から基準点 (λ_0, φ_0) までの距離を l_0 とすると

$$l_0 = a^2 H / (\cos \theta + b^2 \sin \theta \tan \varphi_0)$$

以下は一標準緯線の場合と同様。

4) ガウス・クリューガー投影法

$$y = (\varphi_1 - \varphi_0) / [1]$$

$$x = \frac{l}{[2]} \cos \varphi + \frac{l^3}{[2]} \frac{l}{6\rho^2} \cos \varphi \cos 2\varphi$$

ただし

$$\varphi_1 = \varphi + (V^2 / 2\rho) l^2 \sin \varphi \cos \varphi$$

φ_0 : 原点緯度

φ : 新点緯度

l : 経度差

[1]: $\rho/R \cdots \frac{1}{2}(\varphi_0 + \varphi_1)$ に対する値

[2]: $\rho/N \cdots \varphi_1$ に対する値

R : 子午線の曲率半径

N : 横の曲率半径

V : $\sqrt{1 + e'^2 \cos^2 \varphi}$

e' : 離心率 $\sqrt{(a^2 - b^2)/b^2} = 0.0067192^{1/2}$

ρ : 57.2958 (φ が度単位の場合)

(Fig. 4 はこの投影法による)

§5. プログラム

Fig. 2, 3, 4, 5 はすべて計算機 IBM 360/40 の出力装置の一つ、プロッタ IBM 1627 によつて描かれたものであり、プログラムもこれらの装置に即して作成された。(オペレーティング・システムは DOS を用いる)。

PROGRAM-H は MAP-H を描くための FORTRAN プログラムで、ジョブ・コントロール・カード、データも含めてリストティングが Table 2 に示してある。日本全図だけを描きたい時にはこれを利用すればよいであろう。簡単なものであり、説明はプログラム中のもののみで十分と思われる。

PROGRAM-A のリストティングを Table 3 に示すが、これをジョブ・コントロール・カード、主プログラム、副プログラムに加えて、パラメータの値を指定する入力カードが印刷されている。

主プログラムは、入力カードを読み、指定されたパラメータの値によつて副プログラムとの情報交換を行ない、プロッタ上に適當な縮尺で地図を描く様に構成されている。

各副プログラムの内容を要約すると次の様になる。

TITLE; 指定された投影法を印刷する。

MERCTA, MILLRA, CONC1A, CONC2A, GEODSA; 緯度、経度と直角座標 (X, Y) の間の変換に必要なパラメータを計算する。夫々メルカトル、ミラー、円錐(1 標準緯度線), 同(2 標準緯度線), ガウス・クリューガーの投影法に対応する。

MERCTB, MILLRB, CONICB, GEODSB, BLXY; 上で用意されたパラメータを使い、(緯度、経度) $\rightarrow (X, Y)$ の変換を行う。

SUBAT1; MAP-JPN または MAP-ISC のデータのうち、パラメータで指定された範囲内に入るものを磁気テープから読み、これを投影法に従つて変換したものを作成する。

SUBAT2; プロッタのスケーリングに必要なパラメータを計算する。

SUBAT3; 地図に描き込む緯線、経線の位置 (PHIO, ALAMO を中心に GINT の間隔で描く) を (X, Y) に変換して磁気テープに書く。

FLAMEU； 地図の枠を描く。

PROJCN； 投影法の選択を行う。

WRTXY9； XX, YY をテープ上に書きこむ小プログラム。

XDATA； 利用者各自がデータを追加して地図上にプロットするための副プログラム。

Table 3 には（経度、緯度）を対にして任意の個数よみとり、その位置に + 印をプロットする簡単なプログラムが加えられている。

入力カードで指定する各パラメータの内容と読み込み FORMAT を次に記す。

カード 1： MAPV, ALAT1, ALAT2, ALNG1, ALNG2, SCALE (I4, 4X, 4F8.0, E8.4)。

MAPV； 投影法の選択

1—メルカトル図法

2—ミラー図法

3—円錐図法 (1 標準緯度線)

4—円錐図法 (2 標準緯度線)

5—ガウス・クリューガー図法

ALAT1, ALAT2； 緯度の下限及び上限（度単位、南緯は負）。

ALNG1, ALNG2； 経度の下限及び上限（度単位、西経は負）。

SCALE； 縮尺の逆数（二百万分の一なら 2.0E06）負なら地図の枠を書かない。

カード 2： PHIO, YO, ALAMO, XO, PHI1, PHI2, AM, AN, GINT (9F8.0)。

PHIO, YO； 地図の基準となる点の緯度及び y 座標（但し、ガウス・クリューガー投影法の場合は原点、円錐図法・一標準緯線の場合は標準緯線）

ALAMO, XO； 地図の基準とする点の経度及び x 座標。

PHI1, PHI2； 円錐投影法・二標準緯線の場合の標準緯線。

AM, AN； ミラー投影法の場合の定数 m 及び n（ともに 1.25 がよく用いられる）。

GINT； 地図上に描かせる経緯度線の間隔、0 ならばかかない。

カード 3： N OBS, NB ORD, (NC ON(K), K=1, 7) (214, 7 (3X, A1))

N OBS； 地図上に追加してプロットするデータの個数。

NB ORD； MAP-JPN で県界が必要な場合 1, 不要な場合は 0。

NC ON； ISC のデータの地域別コード

1—北アメリカ

2—南アメリカ

3—ヨーロッパ

4—アフリカ

5—アジア

6—オーストラリア及びオセアニア

7—南極

何枚かの地図を続けて描く時は以上のデータ・カードをくり返しつける。一番最後にブランク・カードを加える。

Fig. 4 の地震活動を示す地図の様に、地図の上に任意の地球物理学的データをつけ加え

たい場合は、副プログラム XDATA を適宜に作り、データを読み込み、上に述べた投影法や座標変換に必要な副プログラムだけを呼び出し、任意の様式でプロットするプログラムを作成すればよい。そのためのデータ・カードはカード 3 の次につける。NOBS 個のデータが読まれる。ここに示す XDATA はとくに簡単な例である。

§ 6. あとがき

DIGITAL MAP に意義があるとするならば、それは数値やプログラムそのものの意義ではなく、他の研究に役立つことにあるであろう。この点を考え、我々の作ったプログラムおよびデータを紹介し、多くの方の研究の一助に供したいと願うものである。

おわりに、世界地図のための TAPE-ISC は本所溝上恵氏によつて準備されたものであることを記し、感謝を捧げる。

文 献

- 測地便覧 (1939) 陸地測量部。
測地学の概観 (1974) 日本測地学会.

Table 2. Listing of PROGRAM-H for Digital MAP-H.

```

// JDR YOSUJDA
// OPTION LINK
// ACTION NOMAP
// F7C RCD
C DIGITAL MAP H
C WRITE MAP OF JAPAN (LAMBERT PROJECTION) WITH AN ARBITRARY SCALE.
C INPUT CARDS
C 1 - 321 DIGITAL MAP CARDS (A = IR, R = 258, C = 75)
C 2 - CARD THAT GIVES (SCALE), PERIOD = 22F.0, <
C CARD 2 CAN BE GIVEN REPEATEDLY. PUT A LANK CARD AT THE END.
C MAP IS GIVEN WITH A SCALING SCALE(5,000,000).
C SCALE MUST BE .LE. 1.50
C JDRS WITH SMALLER SCALING COME FIRST.
C KEEP THE PEN AT THE RIGHT EDGE WHEN STARTS.
C DIMENSION X(10,91), Y(10,91), YM(3000), YH(3000)
COMMON XMN,YMN,XMAX,YMAX,XD,YD,X0,Y0,X,Y,I,J,JJKK
DATA N1/1.,1.1,1.3,5./,6.7,8./,n2/3.,5.,7.,8.,9./,10.,10./
      RREAD DATA
      READ(15,111) ((X(I,J),Y(I,J)),NS(I,J)),I=1,10),J=1,9)
11 FORMAT (10F.2)
      READ(15,10) ((XM(I),YM(I)),I=1,1044)
      READ(15,10) ((XM(I),YM(I)),I=1545,1594)
10 FORMAT(T12F5.2)
TEST = XM(1,1)
C READ PARAME TERS
30 READ(15,31) SCALE, GRID
C 31 FORMAT (AFR,0)
SCALING (SCALE = SCALE/5,000,000)
IF (SCALE < 0.0) GO TO 99
SCALE = 5000000./SCALE
99 WRITE (*,23) SCALE, AFRL, GRID
23 FORMAT (/,"X",44,"Y",44,"N",5,"SCALE = ",F4.4," GRID = ",F4.4," N")
1 ,9H GRID = 0.751463642
21 IF (SCALE = 0.751463642) GO TO 25
22 IF (SCALE = 1.50152534) GO TO 25
25 IF (SCALE = 3.00305236) GO TO 35
34 WRITE (*,35) XM(1,1), 3*42, 4*36
35 FORMAT (1/,4X,4OH SCALING TWO LARFF. MAKE SCALF.LT.1.50
C SLANT MAP
36 FORMAT(30)
26 IN 27 K = 1,1724
IN 27 X(K) = XM(1,K)*G,1,9) GO TO 27
X(K) = (XM(K) + YM(K)) * 0.70711
YM(K) = (-XM(K) + YM(K)) * 0.70711
X(K) = XM(K)
27 CONTINUE
28 IN 29 J = 1,9
IN 29 I = 1,10
IF (XS(I,J),G,1,99) GO TO 29
XS(J) = (XS(I,J)+YM(I,J))/0.70711
YS(I,J) = (-XS(I,J)+YM(I,J))/0.70711
XS(I,J) = XS(I,J)
29 CONTINUE
C PREPARE CONSTANTS
36 XMN = XS(1,1)
XMN = XS(10,9)
YMN = AMIN1 (YS(1,3),YS(7,3)) -0.4
YMAX = AMAX1 (YS(1,9),YS(1,4))
XL = (XMAX - XMN)*SCALE
YL = (YMAX - YMN)*SCALE

```


Table 3. Listing of PROGRAM-A for MAP-JPN and MAP-ISC.

```

// INR YOSHIDA
// OPTION LINK
// ACTION NOHAP
// FPEC FOR TRAN
// FTC RCD
C PROGRAM-A
C USE TAP(LPN) FOR JAPAN, (ISC) FOR THE WORLD.
C TAPE (JPN) OR (ISC) ON '1#1' AND NOLABEL ON '1#1'.
C INPUT CARD 1 - MAPV, ALAT1,ALAT2, ALNG1,ALNG2, SCALE, FR,4)
C INPUT CARD 2 - PH10,YO, ALAMO,XO, SCALF,PH11,PH12,ALNG1,ALNG2,PH11,YO, ALAMO,XO,C1,C2,C3,MAPV
C WHEN NORS, NE,JU ADD DATA AFTER CARD 3, U, V, XX,YY, PH10,YO, ALAMO,XO, C1,C2,C3, NORMS,MAPV,1)
C INPUT CARD CAN BE REPEATEDLY GIVEN FOR EACH MAP.
C TO TERMINATE JDN AND BLANK CARD.
C MAPV = SELECT PROJECTION, 1-MERCATOR, 2-MILLER,
C 3-CGNIC (1 STANDARD PARALLEL), 4-CNRIC (2 STANDARD PARALLEL)
C 5-GAUSS KRUEFER
C ALAT1,ALAT2, ALNG1,ALNG2 = LATITUDE AND LONGITUDE THAT SPECIFY
C THE REGION TO BE PLOTTED. (UNIT = DEGREE).
C SCALF = SCALE OF MAP IS GIVEN BY (1/SCALE). IF '1'.T.O. NN AXES.
C DNO,1,O = LATITUDE AND Y-CHORD. IN STANDARD PRINTIN.
C ALAMO,XO = LATITUDE AND Z-CHORD. IN STANDARD PRINTIN.
C PH11,PH12 = LATITUDE OF STANDARD PARALLEL FOR CLINIC PROJECTION
C ATN = NAME OF PROJECTOR FOR MILLER PROJECTION.
C GINT = NUMBER OF DECIMAL PLACES FOR LATITUDE AND LONGITUDE TO BE PLOTTED.
C IP = FOR NUMBER OF PLOT POINTS.
C NORD = 1 DRAW PUNCTUATE LINES, 0 NC. (FOR JPN)
C NCIN = AREA CODE FOR MAP INC.
C 1-HOR TH AMERICA, 2-SOUTH AMERICA, 3-EUROPE, 4-AFRICA, 5-ASIA
C 6-AUSTRALIA AND OCEANIA, 7-SOUTH POLAR.
C SUBROUTINES USED - RLY, CONCL, -A-CONCTR, FILEFLU,
C GEODSA, -B-MERCIA, -R, MILLRA, -R, PRUCH, SHRA1, -2, -3,
C TITLE, WRTY9
C DIMENSION AX(11),AY(11),CON(121),NGON(17)
C DIMENSION UNI(100),VN(1000)
C COMMON XMIN,XMAX,XL,XO, YMIN+YMAX,YL,YD, X,V
C READ IN PARAMETERS
100 READ(5,101) NAMV,ALAT1,ALAT2,ALNG1,ALNG2,SCALF
1001 FORMAT(14.4X,4F9.0,FR,4)
SCALE = ABS(SCALE)
110 READ(5,110) PH10,YO,ALAMO,XO,PH11,PH12,AM,GIN
1101 FORMAT(9F9.0)
1121 READ(5,112) NORS, NORD,(INCONIK),K=1,7)
1121 FORMAT(12I*7,3X,AL1)
C PRINT OUT PARAMETERS
CALL TITL(MAPV)
WRITE (6,1102) MAPV, ALAT1,ALAT2,ALNG1,ALNG2, SCALF,
1102 FORMAT( 4X, 4F9.0,FR,4)
1, LONGITUDE =', FR,3,-', FR,3,-', FR,3,-', FR,3,-'
1, LATITUDE =', FR,3,-', FR,3,-', FR,3,-', FR,3,-'
1, WRITE(6,1112) PH10,YO,ALAMO,XO,PH11,PH12,AM,AN
1112 FORMAT(5X,ORIGIN =',FR,3,-',FR,3,-',FR,3,-',FR,3,-')
1, TANAN =',SF,B,3,3)
1, M1TE(6,112) NORS, NORD,(INCONIK),K=1,7)
1112 FORMAT(4X, NO. OF PLOTTING POINTS =',14,3X*, RNDRDF =',14,3X*
1, CONTINEN =',',1X,1L1)
1, GNDTO(2,12) 2,11,3,12,*251, MAV
C DEPENDATION FOR SCALING AND CONVERSION
121 CALL MERCIA(PH10,YO,SCALF,C1,C2)
GO TO 122
122 CALL MILLA(PH10,YO,SCALF,AM,N,CL,C2,C3)
GO TO 126
END

```

Table 3. (Continued)

```

SUBROUTINE BLXY (ALATO, ALNGO, ALAT, ALNG, X, Y, IND)
C AUXILIARY SUBPROGRAM FOR GAUSS-KRUEGER PROJECTION.
A = 6378.140
F2 = 6.6944541F-3
E12 = 6.7395719E-3
D = 57.2958
RD = 1.0/57.2958
IF (IND .GE. 1) GO TO 100
RLAT = RD*ALAT
RNGL = RD*ALNG
SLAT = SIN(RLAT)
CLAT = COS(RLAT)
V2 = 1.0 + E12*CLAT**2
AL = ALNG - ALNG
PH1 = ALAT + (V2*AL)**0.5*SLAT*CLAT)/(2.*D)
RPH1 = PH1*RD
RPH2 = (PH1 + ALAT)*0.5*RD
R = A*(1.0-E2)*SQR((1.0-E2)*SIN(RPH1)**2)
AN = A/SQRT(1.0-E2)*SIN(RPH1)**2
C1 = D/R
C2 = D/AN
X = (PH1 - ALATO)/C1
Y = (AL*(CLAT)/C2 + (AL**3*CLAT)*COS(2.0*RLAT))/ (6.0*C2*0.5*2)
RF TURN
100 RLATO = ALATO*RD
SLATO = SIN(RLAT)
R = A*(1.0-E2)*SQR((1.0-E2)*SLATO**2)
AN = A/SQRT(1.0-E2)*SLATO**2
V2 = 1.0 + E12*COS(RLAT)*COS(RLAT)
C1 = D/AN
C2 = D/AN
PH1 = ALATO + C1*X
RPH1 = PH1*RD
TPH1 = TAN(RPH1)
CPH1 = COS(RPH1)
ALAT = PH1 - (C2*Y)**2*V2*TPH1/(2.*0*0)
ALNG = ALN((C2*Y)/C*TPH1)**3*(1.+2.0*TTPH1**2)
1 (6.0*D**2*CPH1)
RF TURN
END

SUBROUTINE CONC2A (PHI0, PHI1, PHI2, SCALE, THETA, YCO1, YMO)
C CONIC PROJECTION WITH 1 STANDARD LATITUDE
FPH0(A,RD) = A*TAN ((COEF*RD)/A)**2 + (SIN(RD)/R)**2)
A = 6378.388*10.*0.5*SCALE
R = 637.6912*10.*0.5*SCALE
A = 1.004546
R = 0.993276
RD = PH1/57.2958
PH10 = FPH1(BA, RD)
RD = PH1/57.2958
PH110 = FPH1(BA, RD)
RD = PH1/57.2958
PH120 = FPH1(BA, RD)
RHO1 = FPH1(A,B,PH110)
RHO2 = FPH1(A,B,PH120)
THETA = ATAN2((RHO1*COS(PHI10)-RHO2*COS(PHI20)), (RHO2*SIN(PHI20)))
1 -RHO1*SIN(PHI10))
AL1 = RHO1*COS(PHI10)/SIN(THETA)
YCO1 = AL1*COS(THETA) + RHO1*SIN(PHI10)
YMO = YCO1/(COS(THETA) + SIN(THETA)*TAN(PHI10))
RF TURN
END

SUBROUTINE CONICR (PHI, ALAN, X, Y, PHI0, YO, ALAMO, X0, THETA, YCO1, YMO,
1 ICONIC)
C CONIC PROJECTION WITH 2 STANDARD LATITUDE
IF (ICONIC) 100, 100, 200
100 XS = X - XO
YS = YO + Y - YO - Y
AL = SQR(TXS**2 + YS**2)
OMG = A*TAN2(XS, YS)
RAMS = OMG*SIN(THETA)
PHD = ATAN2((YCO1 - AL*COS(THETA)), AL*SIN(THETA))
PHI = ATAN(1.0/68*TAN(PHI0))**57.2958
ALAM = ALAM0 + RAMS*57.2958
RF TURN
200 RAMS = (ALAM-ALAM0)/57.2958
OMG = RAMS*SIN(THETA)
PHD = ATAN((93278*TAN(PHI)/57.2958))
AL = YCO1*COS(PHI0)/COS(PHI0-THETA)
XS = AL*SIN(OMG)
YS = AL*COS(OMG)
X = XO + XS
Y = YO + YO - YS
RF TURN
END

SUBROUTINE CONC1A (PHI0, YO, SCALE, PHI1, THETA, YCO1, YMO)
C CONIC PROJECTION
A = 6378.388*10.*0.5*SCALE
A2 = 4**2
R2 = R**2
THETA = PHI0/57.2958
TPH10 = TAN(THETA)
TPH12 = TPH10**2
XCO1 = SQR((A2+B2*TPH12)
YCO1 = XCO1/TPH10
YMO = A2*XCO1/SIN(THETA)
RF TURN
END

```

Table 3. (Continued)

```

SUBROUTINE FLAME(X1,X2,Y1,Y2,SCALE,F1)
  C   DRAW FRAME
  XMIN=XMAX,XL,XD,YMIN,YMAX,YL,YD,XY
  SCALE=SCALE*SCALE
  XONE = X1 + 0.3*SCALE
  XTWO = X2 + 0.3*SCALE
  YONE = Y1 + 0.3*SCALE
  YTWO = Y2 + 0.3*SCALE
  IF (YONE .LT. YMIN) YONE = YMIN + 1.0*SCALE
  IF (YTWO .GT. YMAX) YTWO = YMAX - 1.0*SCALE
  WRITE(*,1002) XONE,XTWO,YONE,YTWO
1002 FORMAT(' POSITION OF FLAME X =',F10.3,' Y =',F10.3,' (Km)',1
  DM1 = 0.1*SCALE
  DM2 = 0.2*SCALE
  SC5 = 5.0*SCALE
  X = YONE
  Y = YTWO
  CALL PLOT(6)
  IF (YTWO .GE. YONE) Y1 = YTWO
  XX1 = A1*Y1*(XONE/SCALE)*SCALE
  IF (XX1 .LT. 0.0) XX1 = XX1 + SCALE
  X = XX1
  IF (X .GE. XTWO) GO TO 200
  CALL PLOT(6)
  IF (A1*DM1 .LT. F0 .+ 0.0) DM = DM2
  110  Y = Y + DM
  CALL PLOT(6)
  IF (YONE .LT. YTWO) YY1 = A1*YONE*SCALE
  Y = YY1
  CALL PLOT(6)
  CALL PLOT(6)
  Y = Y - DM*2.0
  CALL PLOT(6)
  Y = Y + DM
  CALL PLOT(6)
  IF (YTWO .GE. YONE) Y1 = YTWO
  YY1 = A1*Y1*(YTWO/SCALE)*SCALE
  IF (YY1 .LT. 0.0) YY1 = YY1 + SCALE
  Y = YY1
  IF (Y .GE. YTWO) GO TO 500
  CALL PLOT(6)
  DM = DM1
  IF (A1*DM1 .LT. F0 .+ 0.0) DM = DM2
  220  X = X + DM
  CALL PLOT(6)
  IF (YONE .LT. YTWO) YY1 = A1*YONE*SCALE
  Y = YY1
  CALL PLOT(6)
  IF (YTWO .GE. YONE) Y1 = YTWO
  YY1 = A1*Y1*(YTWO/SCALE)*SCALE
  IF (YY1 .LT. 0.0) YY1 = YY1 + SCALE
  Y = YY1
  IF (Y .GE. YTWO) GO TO 400
  CALL PLOT(6)
  IF (A1*DM1 .LT. F0 .+ 0.0) DM = DM2
  500  Y = YTWO
  CALL PLOT(6)
  IF (YTWO .LT. Y2) GO TO 400
  XX2 = A1*YTWO*SCALE*SCALE
  IF (XX2 .LT. 0.0) XX2 = XX2 - SCALE
  X = XX2
  IF (X .LT. XX1) GO TO 400
  CALL PLOT(6)
  IF (YTWO .LT. Y2) GO TO 400
  XX2 = A1*YTWO*SCALE*SCALE
  IF (XX2 .LT. 0.0) XX2 = XX2 - SCALE
  Y = YY2
  CALL PLOT(6)
  IF (YY2 .LT. 0.0) YY2 = YY2 - SCALE
  X = X + DM
  CALL PLOT(6)
  IF (Y .LT. YY2) GO TO 300
  CALL PLOT(6)
  DM = DM1
  IF (A1*DM1 .LT. F0 .+ 0.0) DM = DM2
  400  YY = YY2
  CALL PLOT(6)
  IF (YY .LT. 0.0) YY = YY + DM
  CALL PLOT(6)
  X = X - DM
  CALL PLOT(6)
  IF (Y .LT. YY) GO TO 200
  CALL PLOT(6)
  Y = Y - 1.0*SCALE
  300  YY = YONE
  CALL PLOT(6)
  CALL PLOT(6)
  IF (SCALE .LT. 0.1) GO TO 350
  IF (YONE .GE. 0.0) GO TO 340
  IF (YTWO .GE. 0.0) GO TO 340
  CALL PASH(6,YONE,0.0,YTWO,5)
  340  IF (YONE .LT. 0.0) GO TO 350
  IF (YTWO .LT. 0.0) GO TO 350
  CALL PASH(YONE,0.0,YTWO,5)
  350  CONTINUE
  390  RETURN
END

SUBROUTINE GEODSA(SCALE,CM)
  CM = 10.0*5*SCALE
  RETURN
END

SUBROUTINE GEODSB(PHI,RAM,XX,YY,PHI0,Y0,ALAM0,X0,CM,IN)
  IF (ID) 100,100,200
  200  CALL RLXY(PHI0,ALAM0,PHI,ALAM,YY,XX,0,1)
      XX = XX*CM
      YY = YY*CM
      RETURN
  100  XX = XX*CM
      YY = YY*CM
      CALL RLXY(PHI0,ALAM0,PHI,ALAM,YY,XX,1)
      RETURN
END

```

Table 3. (Continued)

```

SUBROUTINE MERC1(PH1,YO,SCALE,RF,DEG)
SCALING FOR MERCATOR PROJECTION
R = 6378.38*10.**5/SCALE E
DEG = R/7.2958
PHID = ATAN(0.9327*TAN(PH1)/7.2*SP1)
SP0 = SIN(PHID)
YO = YO - R*0.5*ALOG((1.+SP0)/(1.-SP0))
RETURN
END

SUBROUTINE MERC2(PH1,ALAM,XX,YY,PHIO,YO,ALAM0,X0,R,DEG,ID1)
MERCATOR PROJECTION
IF ID1=1 THEN 300
  ALAM=ALAM0+XX*X0/DEG
  XX = X*Y2.*YY-Y0/DEG
  PHID = ATAN((ARG1./1./ARG+1.)*57.2958
  RETURN
  XX = X0 + (ALAM-ALAM0)*DEG
  PHID = ATAN(0.9327*TAN(PH1)/7.2*SP1)
  YY = YO + R*0.5*ALOG((1.+ARG1.)/1.-ARG1.)
  RETURN
END

SUBROUTINE MILLR(PH1,YO,SCALE,AM,AN,DEG,AMP2,ANR)
SCALING FOR MILLER PROJECTION
R = ATAN(0.9327*TAN(PH1)/7.2*SP1)
DEG = R/7.2958*5/SCALE
PHID = ATAN(0.7855982
AMP2 = 2.0*AM
ANR = AN*ANR
PHID = ATAN(0.9327*TAN(PH1)/57.2*SP1)
YO = YO - ANR*ALOG(TAN(PH1)/AMP2 + PID4)
RETURN
END

SUBROUTINE MILLR(PH1,RAM,XX,YY,PHIO,YO,ALAM0,X0,DEG,AMP2,ANR,IN1)
MILLER PROJECTION
PHID = 0.7853982
IF ID1=1 THEN 200
  ALAMALAM0 + (XX-X0)/DEG
  PHID = ATAN(PH1-PH0)*AMP2
  PH1 = ATAN(0.9327*TAN(PH1))*57.2*SP1
  RETURN
  XX = (ALAM-ALAM0)*DEG + X0
  PHID = ATAN(0.9327*TAN(PH1)/57.2*SP1)
  PHM = TAN(PH1/AMP2+PH1/4)
  YY = YU + ANR*ALOG(PH0)
  RETURN
END

SUBROUTINE PROJCN(PH1,ALAM,XX,YY,PHIO,YO,ALAM0,X0,C1,C2,C3,MAPV)
CHNCE OF PROJECTION
GO TO 101,102,103,104,105,106
101 CALL MERC1(PH1,ALAM,XX,YY,PHIO,YO,ALAM0,X0, C1,C2,
  GO TO 106
  102 CALL MILLR(PH1,ALAM,XX,YY,PHIO,YO,ALAM0,X0, C1,C2,C3, 1)
  GO TO 106
  103 CALL CONIC(PH1,ALAM,XX,YY,PHIO,YO,ALAM0,X0, C1,C2,C3, 1)
  GO TO 106
  105 CALL GEODS(PH1,ALAM,XX,YY,PHIO,YO,ALAM0,X0, C1,C2,C3, 1)
  RETURN
END

```

Table 3. (Continued)

```

2200 CONTINUE
  IF (INR .LT. 1) GO TO 222
  IN 2210 K = 1, NR
  READ(18,2213) (PHI0(J), ALMD(J), J=1,5)
2213 FORMATS(F12.8, F12.8)
2210 CONTINUE
2220 IF (INL .EQ. 0) GO TO 210
  RFD0(R,2213) (PHI0(J), ALMD(J), J=1,NL)
  GO TO 210
230  KK = 0
  NBL = NR + 1
  IF (NL .EQ. 0) NBL = NR
  JL = 5
235  KK = KK + 1
  IF (KK .LT. NR+1) JL = NL
  DO 240 J = 1, JL
    RFD0(J,2213) PHI0(J), ALMD(J), J=1,JL)
240  PHI = PHI0(J)*7.2958
  ALAM = -ALD0(DO, 0.1) * 7.2958
  IF (INSGN .EQ. 1) AND (RAN(LT, 0.0)) ALAM = 360. + ALAM
  IF (IPHI .LT. 0) ALAM * OR. (ALAM * GT. ALAT21) GO TO 250
  CALL PROCN (PHI0, ALNG1, *OR. (ALAM * GT. ALNG1)) GO TO 250
245  IF (N .EQ. 0) GO TO 240
  DIST = SRT((XX-XX1)**2 + (YY-YY1)**2)
  IF (DIST .LT. 0.1) GO TO 240
240  N = N + 1
  XX1 = XX
  YY1 = YY
  CALL WRXY9 (PHIR, ALMR, XX, YY, 1)
  GO TO 2400
250  IF (N .EQ. 0) GO TO 2400
  IF (N .EQ. 1) GO TO 2700
  N = 0
  CALL WRXY9 (PHIR, ALMR, 999, 99, 0, 1)
  GO TO 2400
270  N = 0
  IF (I .EQ. 0) GO TO 2400
  BACK SPACE 9
  I = 9
2800 CONTINUE
  IF (KK .LT. NBL) GO TO 235
  CALL WRXY9 (PHIR, ALMR, 999, 99, 0, 1)
  GO TO 210
310  I = I + 1
  ON 3100 J = 1,10
  ALMR(J) = 999, 99
3100 CONTINUE
  WRTF(9) (PHIR(J), ALMR(J), J=1,10)
  REWIND R
  RETURN
END

SUBROUTINE SUBATA1(ALAT1, ALAT2, ALNG1, ALNG2, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2,
1, C3, X1, X2, Y1, Y2, MAPV)
C
  PREPARATION FOR SCALING
  GO TO 101, 102, 103, 10, 105, *1, Y1, Y2, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, 1
101  CALL MERC TB (ALAT2, ALNG2, X2, Y2, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, 1)
  RETURN
102  CALL MILLB (ALAT1, ALNG1, X1, Y1, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL MILLB (ALAT2, ALNG2, X2, Y2, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  RETURN
103  CALL COMIC (ALAT1, ALNG1, XX1, YY1, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (PHI0, ALNG1, XX2, YY2, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (ALAT2, ALNG1, XX3, YY3, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (ALAT2, RAM0, XX4, YY4, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (ALAT2, RAM0, XX5, YY5, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (ALAT2, RAM0, XX6, YY6, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (ALAT1, ALNG2, XX7, YY7, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (PHI0, ALNG2, XX8, YY8, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (ALAT1, ALNG2, XX9, YY9, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  CALL COMIC (ALAT1, RAM0, XX10, YY10, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, 1)
  GO TO 110
110  CALL GEOSR (ALAT1, ALNG1, XX1, YY1, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (ALAT2, ALNG1, XX2, YY2, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (ALAT2, ALNG2, XX3, YY3, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (PHI0, ALNG2, XX4, YY4, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (ALAT1, ALNG2, XX5, YY5, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (ALAT1, ALNG2, XX6, YY6, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (ALAT1, RAM0, XX7, YY7, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (ALAT1, RAM0, XX8, YY8, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (ALAT1, RAM0, XX9, YY9, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
  CALL GEOSR (ALAT1, RAM0, XX10, YY10, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, 1)
115  X1 = AMIN(1, XX1, XX2, XX3, XX4, XX5, XX6, XX7, XX8)
  Y1 = AMAX(1, YY1, YY2, YY3, YY4, YY5, YY6, YY7, YY8)
  X2 = AMAX(1, YY1, YY2, YY3, YY4, YY5, YY6, YY7, YY8)
  RETURN
END

SUBROUTINE SUBA13(ALAT1, ALAT2, ALNG1, ALNG2, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2,
1, C3, GINT, MAPV)
C
  PREPARATION FOR WRITING PARALLEL R. MERIDIAN
  DIMENSION G(10), Y(10)
  K = 0
  IF (GINT .EQ. 0) GO TO 300
  LONS = FIX(X1, AM0)
  ALAM = FLOAT(LONS)
  IF (ALAM .LT. ALNG1) GO TO 120
  ALAM = ALAM - GINT
  GO TO 110
110  ALAM = ALAM + GINT
  LAT = I FIX(PHI0)
  PHI = FLOAT(LAT)
  IF (PHI .LT. ALAT1) GO TO 140
  PHI = PHI - GINT
  GO TO 130
130  PHI = PHI + GINT
  PHI = PHI / 180
  ALAM = ALAM +
  IF (ALAM .GT. ALNG2) GO TO 200
  PHI = ALAT1
  LAT = I FIX(PHI0)
  PHI = FLOAT(LAT)
  CALL PROJCN (PHI, ALAM, XX, YY, PHI0, Y0, RAM0, X0, C1, C2, C3, MAPV)
150  CALL WRTXY9 (GX, GY, XX, YY, K)
  PHI = PHI + GINT
  IF (PHI .GE. ALAT2) GO TO 170
END

```

Table 3. (Continued)

```

1.69 CALL PROJCN (PHI, ALAM, XX, YY, PHI0, YO, ALAM0, X0, C1,C2,C3, MAPV)
1.70 GO TO 1.69
1.70 CALL WRXY9 (GX, GY, XX, YY, K)
1.71 CALL PROJCN (PHI, ALAM, XX, YY, PHI0, YO, ALAM0, X0, C1,C2,C3, MAPV)
1.72 CALL WRXY9 (GX, GY, XX, YY, K)
1.73 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.74 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.75 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.76 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.77 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.78 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.79 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.80 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.81 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.82 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.83 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.84 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.85 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.86 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.87 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.88 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.89 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.90 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.91 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.92 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.93 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.94 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.95 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.96 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.97 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.98 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
1.99 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
2.00 PHI = PHI + PHS
2.01 IF (PHI < 0.0) GOTO 2.02
2.02 PHI = PHI + GINT
2.03 IF (PHI < 0.0) GOTO 2.04
2.04 ALAM = -ALAM
2.05 CALL PROJCN (PHI, ALAM, XX, YY, PHI0, YO, ALAM0, X0, C1,C2,C3, MAPV)
2.06 CALL WRXY9 (GX, GY, XX, YY, K)
2.07 CALL PROJCN (PHI, ALAM, XX, YY, PHI0, YO, ALAM0, X0, C1,C2,C3, MAPV)
2.08 ALAM = ALAM + GINT10
2.09 IF (ALAM < 0.0) GOTO 2.10
2.10 CALL PROJCN (PHI, ALAM, XX, YY, PHI0, YO, ALAM0, X0, C1,C2,C3, MAPV)
2.11 CALL PROJCN (PHI, ALAM, XX, YY, PHI0, YO, ALAM0, X0, C1,C2,C3, MAPV)
2.12 CALL PROJCN (PHI, ALAM, XX, YY, PHI0, YO, ALAM0, X0, C1,C2,C3, MAPV)
2.13 CALL WRXY9 (GX, GY, XX, YY, K)
2.14 CALL WRXY9 (GX, GY, 999.99, 0.0, K)
2.15 K = K + 1
2.16 MN = K * 10
2.17 GX(J) = 999.99
2.18 GY(J) = 999.99
2.19 CONTINUE
2.20 WRITE(9, '(GX(J),GY(J))') J+1,10
2.21 END FILE 9
2.22 REWIND 9
2.23 RETURN
2.24 END

SUBROUTINE TIITLE(MAPV)
C
      WRITE PROJECTION NAME
      100 WRITE (10,20,300,400,500,MAPV)
      101 GOTO (10,120,900,400,500,MAPV)
      102 FORMT(1,900, HEMERATOR'S PROJECTION '')
      200 WRITR(6,002)
      200 FORMT(1,900, MILLER MODIFIED PROJECTION '')
      200 WRITR(6,002)
      200 FORMT(1,900, CONIC PROJECTION WITH ONE STANDARD PARALLEL '')
      200 WRITR(6,002)
      200 FORMT(1,900, CONIC PROJECTION WITH TWO STANDARD PARALLEL '')
      400 GOTO 900
      400 FORMT(1,900,2)
      400 WRITR(6,002)
      500 GOTO 900
      500 FORMT(1,900,2)
      500 WRITR(6,002)
      500 FORMT(1,900, GAUSS KRUEGER PROJECTION '')
      900 RETURN
      END

SUBROUTINE WRXY9 (GX, GY, XX, YY, K)
1.59 K = K + 1
1.60 GX(K) = XX
1.61 GY(K) = YY
1.62 IF (K .LT. 10) GOTO 1.63
1.63 WRITE(9, '(GX(J),GY(J),J=1,10)')
1.64 K = 0
1.65 RETURN
1.66 END

```

3. Digital Map for Japan and the World.

By Yoshiko KOTAKE, Mitsuji YOSHIDA, Yasuo SATÔ,

Earthquake Research Institute

and

Kazuo HAMADA,

National Research Center for Disaster Prevention.

Maps are playing an important role in the earth science, and if a map of a certain region can be drawn quickly and accurately with a desirable scaling by a desirable projection, and data can be added thereon, efficiency of study is substantially improved. We prepared a computer oriented Digital Map for this purpose. A couple of examples are shown including a seismicity map of the Kanto area.